

時代にまっすぐ、技術にまじめです。



個人投資家向け会社説明会
日比谷総合設備株式会社
2012年5月26日

【ご注意】本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

会社概要等



- 設 立 1966年3月
- 代 表 者 代表取締役社長 野村春紀
- 資 本 金 57億53百万円
- 株 式 東京証券取引所 第1部上場
- 従 業 員 917名 (2012.3末)
- 売 上 高 609億円 (2012.3末)
- 事業内容 空調・衛生・電気・情報通信・各設備システムの設計施工
設備機器の製造、販売
生産設備の設計施工、保守管理
- 子会社等 連結子会社 日比谷通商(株) ニッケイ(株)
H I Tエンジニアリング(株)
[持分法適用関連会社 日本メックス(株)]

支店・営業所

本社・東京本店

9 支店

13 営業所





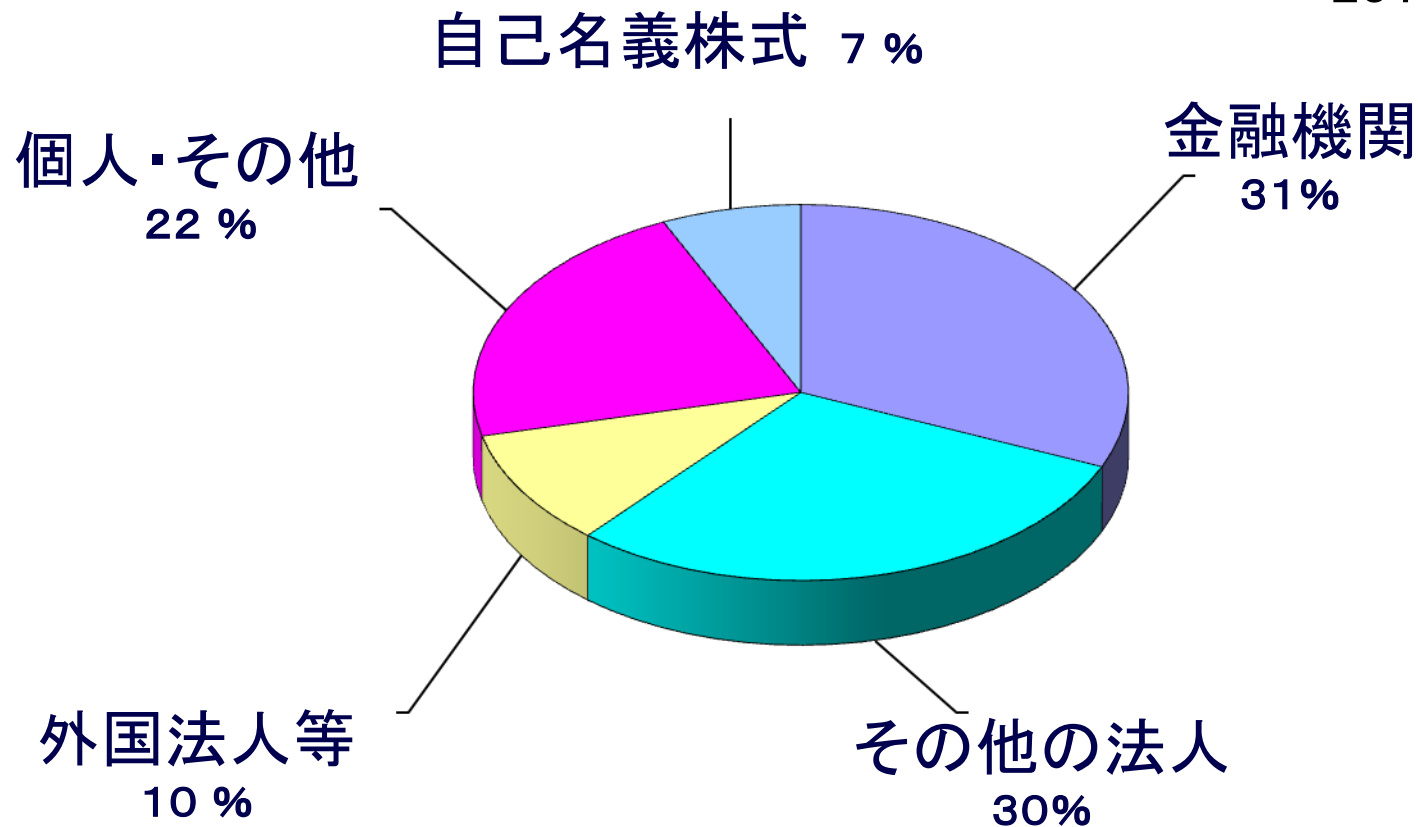
本 社
(住友不動産
三田ツインビル東館)



東京本店
(NTT都市開発
グランパークタワー)

株式の状況 [株主構成]

2012. 3末



発行済株式の総数 : 34,000,309 株

3月末株主数 : 3,029 名

[空気調和設備]



[電気設備]



[給排水衛生設備]



[情報通信設備]



■空調・衛生・電気設備機器の販売等



MACS空調機*



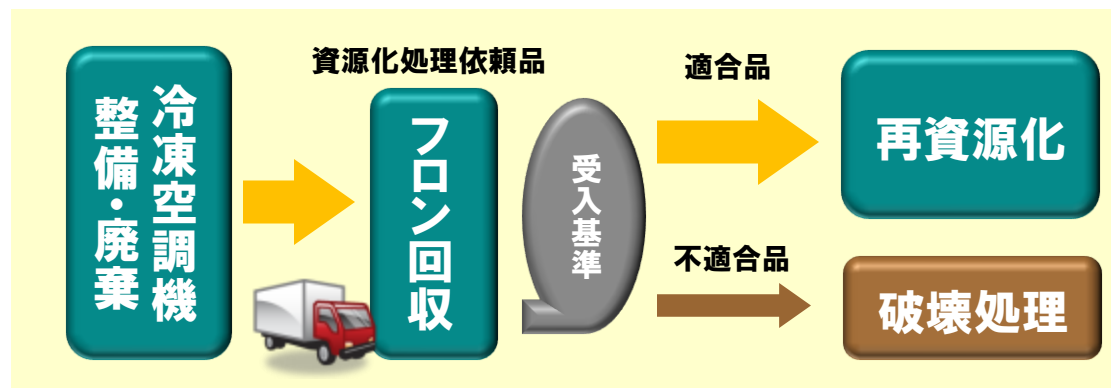
ヒートポンプチラー



外気処理機



キュービクル



フロンガス再資源化事業 (地球環境保護・循環型社会の形成)

* MACS空調機 (Multiunit Air-Conditioning System)

NTTで開発した通信機械室用の空調システムで、小型の空調機を通信装置の設置状況に応じて分散設置する。

優れた温湿度制御、監視等により発熱密度の高い通信機械室においても、省エネルギー性、信頼性を有し、S、M、Lの3機種をシリーズ化している。

■ 入退室管理システム・空調機器・防災機器等製造・販売



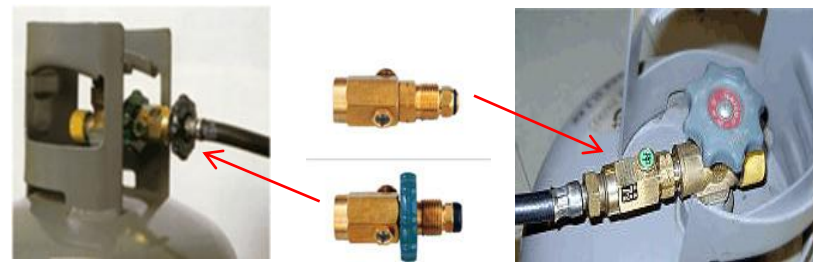
入退室管理システム「NASCA」

- ◆ あらゆる建物に柔軟に対応、ビル全体の入退室をはじめ、扉一つからのオーダーも可能
- ◆ 静脈認証で、指を載せるだけで扉の解錠ができます



床吹き出しファンユニット

- ◆ OA機器、ワーカーにあわせた設置により一人ひとりの体感に合わせだ空調化が可能



ガス漏れストッパー「ガスパー」

- ◆ 地震などによるガス容器の転倒や配管が破損した時、ガス噴出を止め火災を防ぎます
- ◆ 災害の拡大を防止します



船舶用ダンパ

- ◆ 隔壁・甲板貫通に用いる船舶用防火ダンパ

【会社概要】 **生産設備の設計・施工・保守管理**
(HITエンジニアリング)

■ **製薬・食品工場等生産設備の設計・施工・保守管理等**



新製剤工場 施工例



原薬合成工場 施工例



廃水処理施設 施工例



クリーンウェア販売

主な施工物件



【2012年3月期 主な完成工事】

オフィスビル

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



アーバンネット内本町ビル



パナソニック電気(株) 京都営業所

【2012年3月期 主な完成工事】

教育施設①

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



東京電機大学 東京千住キャンパス
(1号館:複合棟、2号館:教育棟、3号館:厚生棟、4号館:研究棟)

【2012年3月期 主な完成工事】

教育施設②

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



名古屋大学 理農館・理学南館



日本大学生産工学部津田沼校舎
39号館

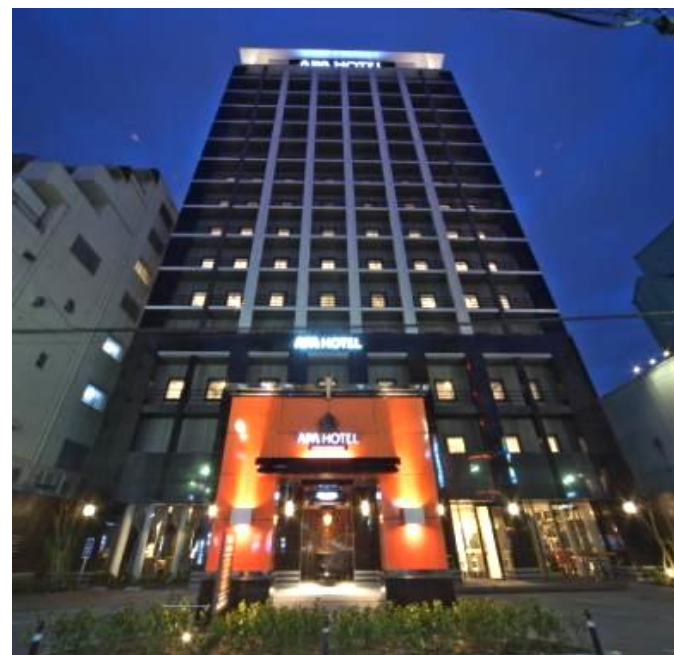
【2012年3月期 主な完成工事】

市街地再開発(複合ビル)・ホテル

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



アーバンネット天神ビル
レソラ天神



アパホテル なんば心斎橋

【2012年3月期 主な完成工事】

物流倉庫・物流施設 / 福祉施設

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



**松屋フーズ
川島生産物流センター**



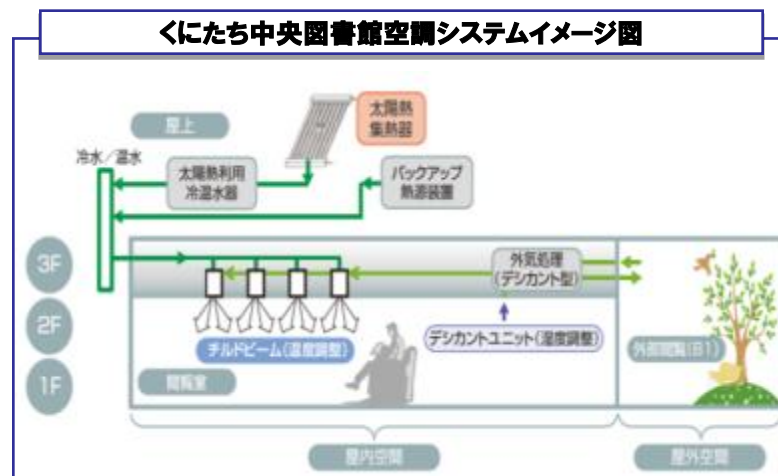
**介護付き有料老人ホーム
悠々**



国立市立くにたち中央図書館

- 当社参画の空調システム研究会(大学、メーカー、設計事務所等)が提案する次世代型環境負荷低減空調システム
- 熱源に太陽熱、温度調整にデシカントユニット、温度調節にチルドビームを組み合わせたシステム、チルドビームの本格導入は、国内で初めて
- 従来の空調に比べCO2排出量を約35%削減

くにたち中央図書館空調システムイメージ図





- 経済産業省が実施する「横浜スマートシティプロジェクト」物件
- 様々な環境配慮技術を取り入れHEMSによる見える化を実現



東京ガス(株)磯子社宅

【2013年3月期 完成予定工事】

2013年3月期 完成予定工事

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



東京駅丸の内駅舎保存・復原

2012年3月期 決算の概要等



決算概要（連結）

受注量拡大に向けた取り組み成果等により、受注は大幅増
 売上・利益面では増収減益

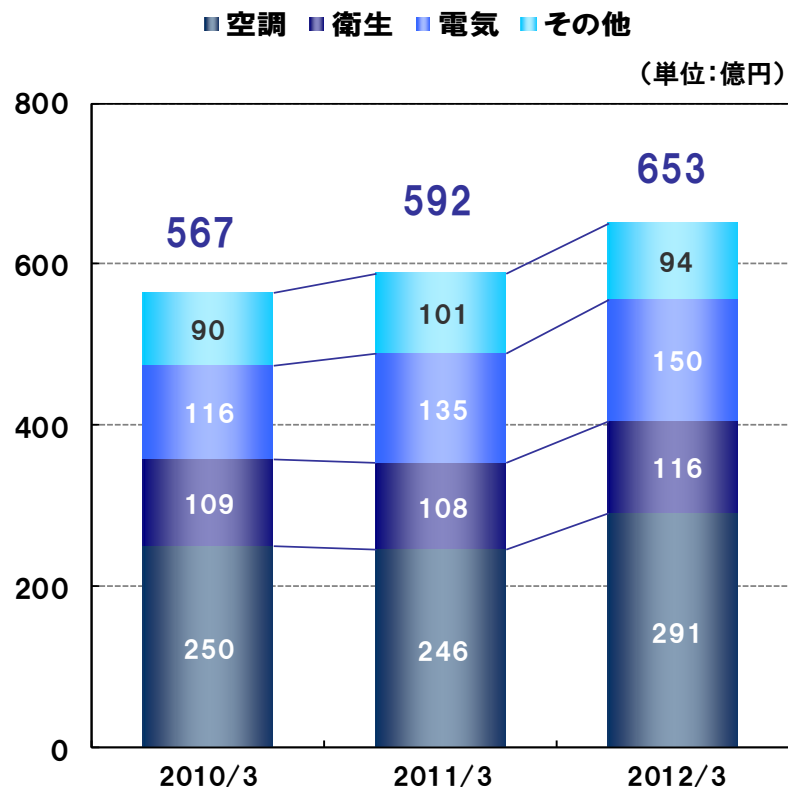
（単位：億円）

	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 実績	前期比 (%)	2012/3 計画
受注高	567.2	592.7	653.2	10.2%	670.0
売上高	623.7	583.0	609.1	4.5%	640.0
売上総利益 (総利益率)	89.9 (14.4%)	95.4 (16.4%)	85.0 (14.0%)	▲10.9% (▲2.4ポイント)	—
営業利益	22.0	25.5	17.1	▲32.9%	25.0
経常利益	37.4	42.6	28.7	▲32.7%	38.0
当期純利益	24.4	30.1	16.5	▲45.0%	24.0

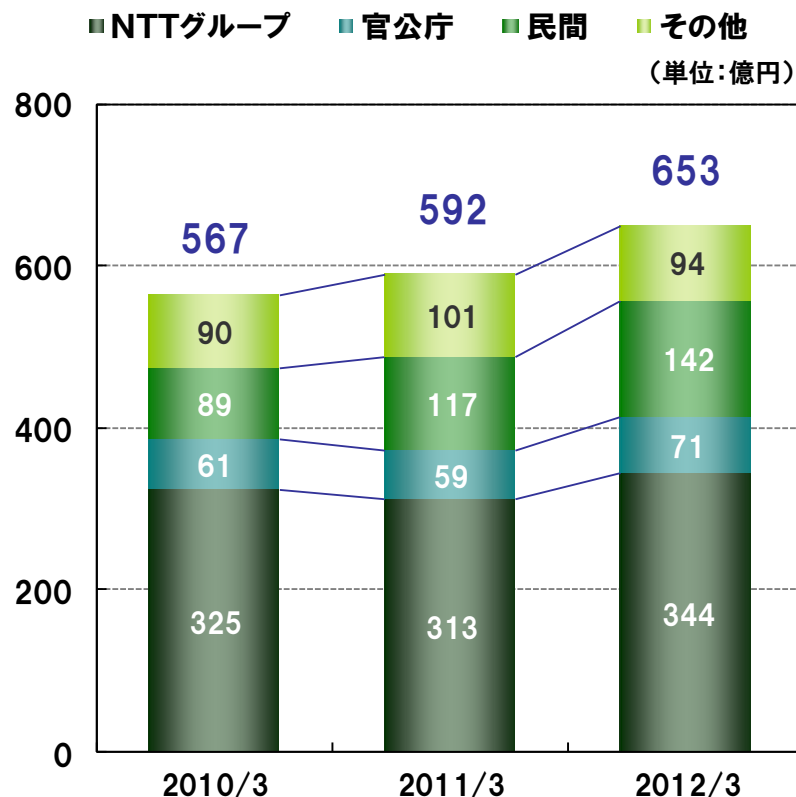
受注高 分野別・顧客別（連結）

分野別では、空調・電気が好調
顧客別では、官公庁・民間が順調に推移

分野別受注高



顧客別受注高

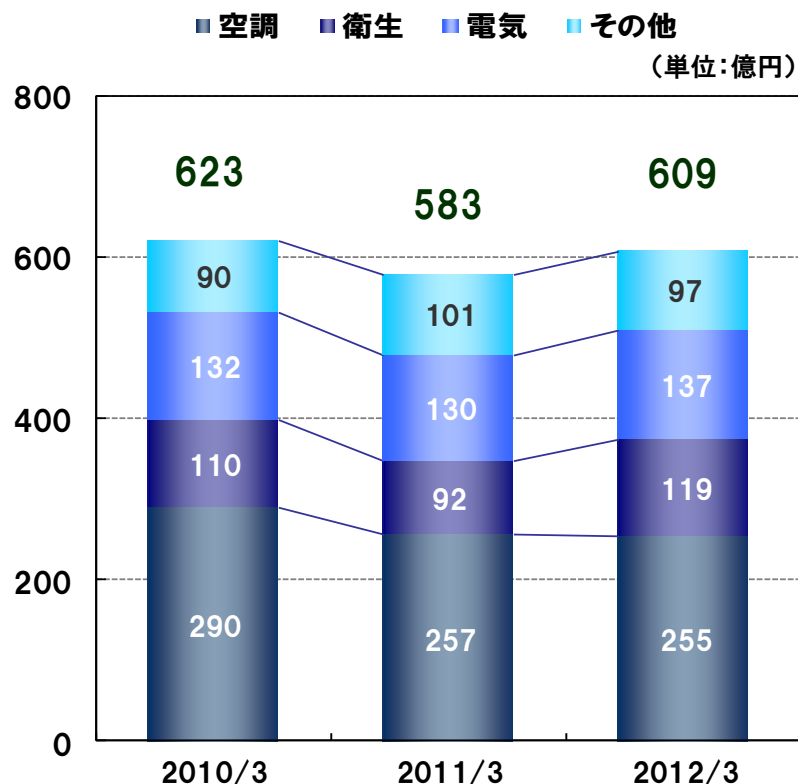


* 受注高その他はグループ会社の受注高

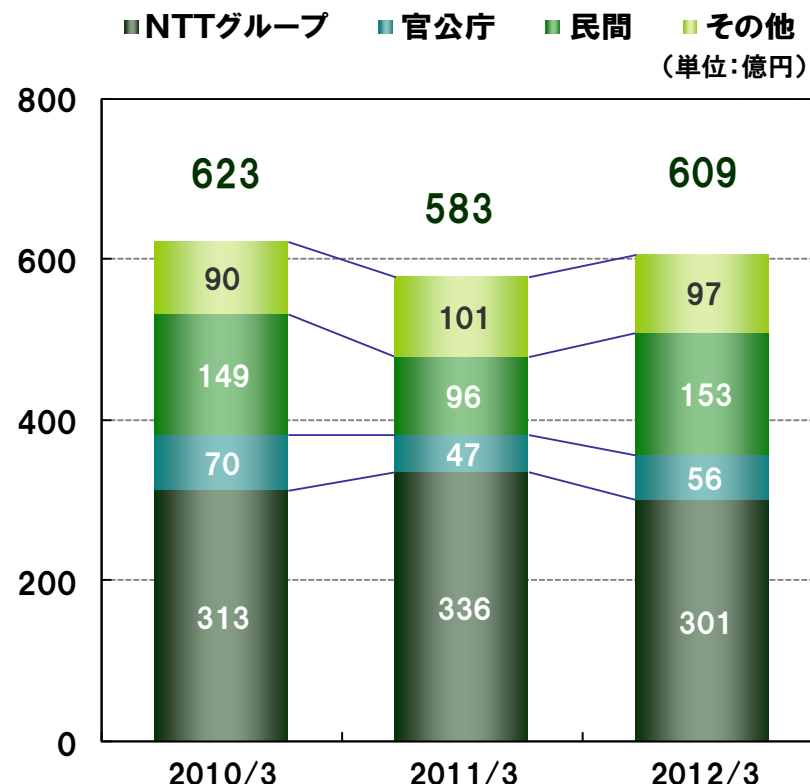
売上高 分野別・顧客別（連結）

増収であるが、年度後半の受注が多く、受注高ほど伸びず

分野別売上高



顧客別売上高



* 売上高その他はグループ会社の売上高

2013年3月期 業績予想

中期経営計画の目標達成に向け、更なる営業強化で受注高・売上高を伸ばす
効率的事業運営で目標利益の確保を目指す

次期業績予想(連結)

【中期経営計画】

	2012/3 実績	2013/3 予想	2014/3 目標数値
受注高	653.2	690.0	730 ~
売上高	609.1	660.0	700 ~
営業利益	17.1	25.0	25 ~
経常利益	28.7	35.0	35 ~
当期純利益	16.5	20.0	20 ~

株主配当金

【基本方針】

- 安定的な株主還元の実施
連結ベースでの純資産配当率(DOE)の指標を導入

【2013年3月期(予想)】

- 年間配当金は1株当たり30円(中間・期末とも1株当たり15円)

*2012年3月期実績: 1株当たり30円(中間・期末とも1株当たり15円)

自己株式の取得・消却

【基本方針】

- 自己株式の取得は株主還元の一環として引き続き機動的に取り組む
- 保有株式はその有効活用を前提に当面消却を実施しない

【2013年3月期】

- 年間取得枠の設定 100万株・10億円

*2012年3月期 実績 ()内は、設定枠に対する取得率

上半期取得結果 40.8万株 (81.8%)

下半期取得結果 23.1万株 (92.4%)

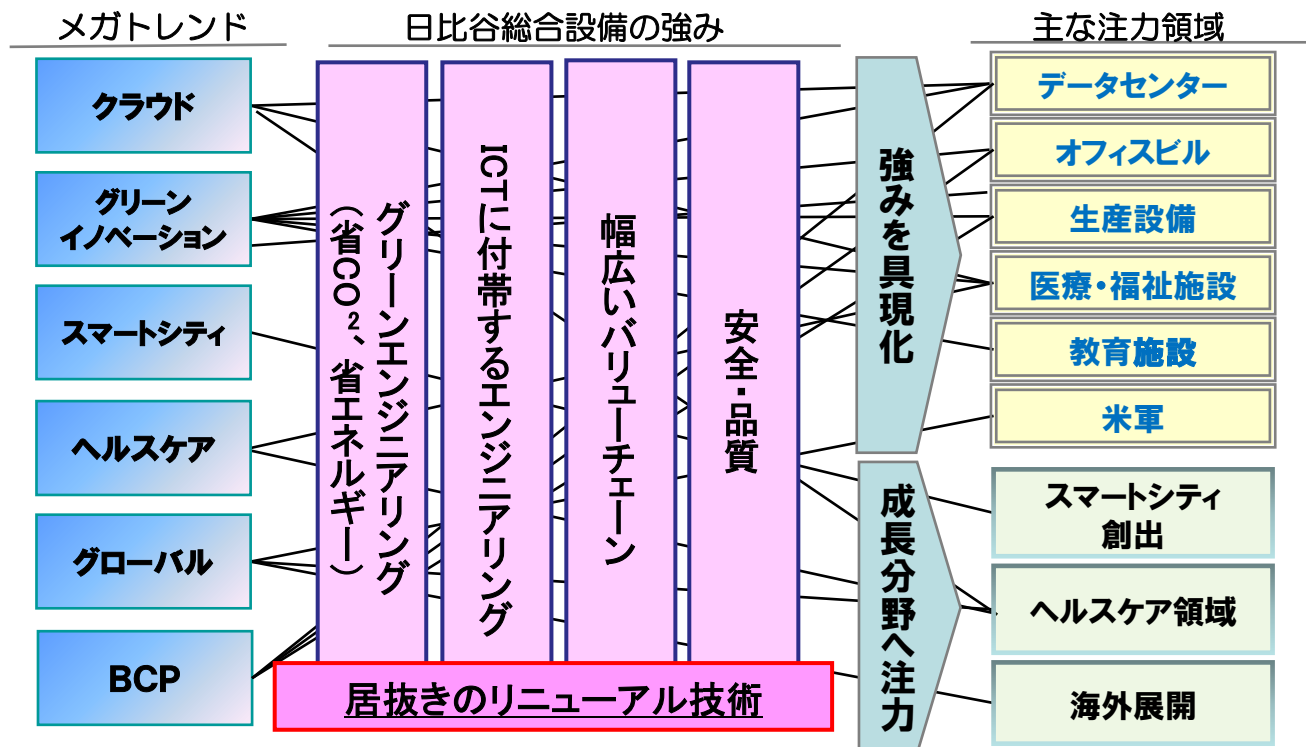
第4次中期経営計画 進捗状況と今後の取り組み等



基本方針

1. 顧客基盤の大幅な拡大、利益を確保する仕組みの構築等により、「収益性を維持しつつ、受注量の拡大を図る」
2. 新規／既存ビジネス間でのシナジー発揮、新規領域のさらなる発掘と海外事業の可能性検討等、「現在着手している新規ビジネスの具現化と更なる事業機会を発掘する」

基本戦略



- 受注量の拡大
 - 注力領域での受注量の拡大
 - ソリューション営業の推進
 - NTTグループとのコラボレーション営業の展開
- 新規ビジネスの具現化と機会の発掘
- 海外事業の展開
- 技術戦略の高度化の推進等

注力領域での受注量の拡大（1）

注力領域

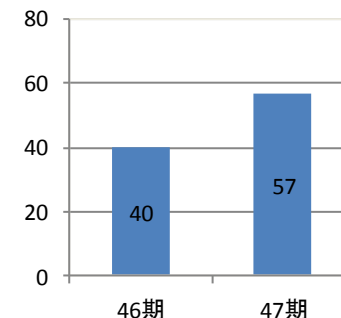
取組方法

当期の実績

データセンター
57億円

居抜のリニューアル工事实績、省エネ診断などの総合提案力で顧客獲得
メンテナンス提案で囲い込み

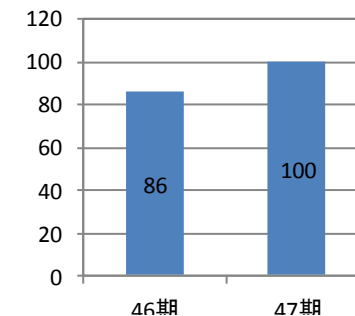
- ・NTTグループデータセンタ（東京、大阪、名古屋、福岡）
- ・政令指定都市市役所、信金
- ・大手印刷会社、電機メーカー（サーバールーム）等



オフィスビル
100億円

グリーンエンジニアリングでの省エネ提案営業
PM会社との協業

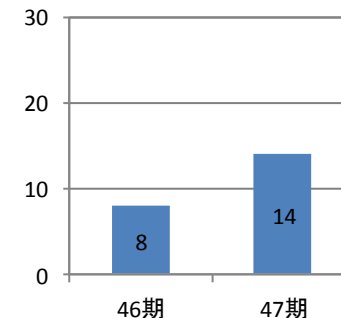
- ・NTTグループ情報通信オフィスビル
- ・製薬会社本社ビル、生命保険会社ビル
- ・中小オフィスビル 等



生産設備
14億円

環境省・東京都等の補助金を活用し、省エネ診断を切り口に中小工場のリニューアルからメンテナンス迄の一貫提案

- ・各種工場（印刷、製紙、食品等）
- ・通信機器メーカー、大手物流施設、製薬会社



注力領域での受注量の拡大（2）

注力領域

取組方法

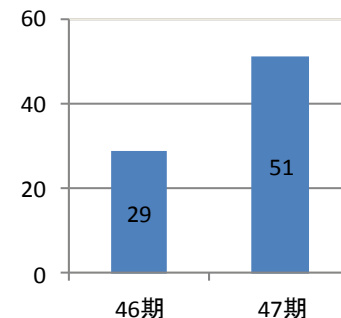
当期の実績

医療 福祉施設

51億円

BCP(非常電源、水ライフライン確保)、CO2削減のガスコジェネの設置、補助金活用等をフックに営業強化

- ・NTT病院、労災病院
- ・特養老人ホーム(東京、九州、北海道)
- ・民間病院太陽熱利用設備

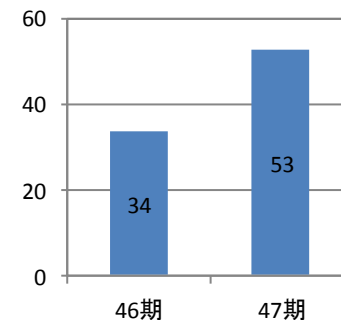


教育施設

53億円

ICT化が進む教育施設をターゲット
省エネ提案、セキュリティ等の実績をフックに営業展開

- ・NTTグループ研修センター
- ・国立大建物群設備改修、私立大セキュリティ設備
- ・公立大実験棟、公立小学校空調設備

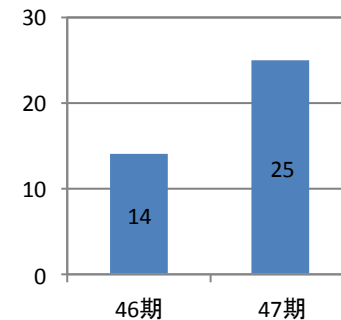


米軍

25億円

米軍向け施工実績とグループ総合力を活かし、太陽熱利用、廃水処理など幅広い営業展開

- ・米海軍横須賀基地内施設
- ・米空軍三沢基地内受変電施設
- ・岩国基地指名参加企業に選定



ソリューション営業の推進

環境を軸としたソリューション営業の展開

省エネコンサル事業

受注実績 82百万円(39件)

- ・ 「光熱費削減」「BCP」等を訴求ポイントに積極展開
- ・ 生産設備(自動車部品製造工場等)など顧客層も拡大

省エネソリューション事業

受注実績 60億円

- ・ ソリューション案件の全国拡大
(省エネ診断・補助金活用ツールの整備・拡充等)
- ・ PM会社とのコラボによるオフィス省エネ案件拡大
- ・ 建物設備保全コンサル・診断等の強化により、受注拡大

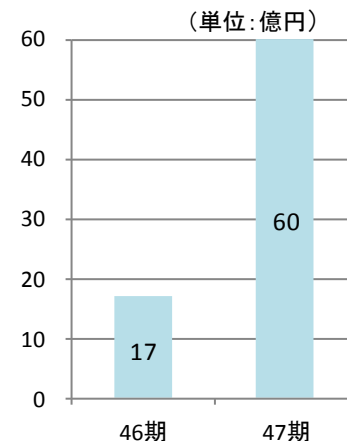
今後の取り組み

- ・ 各省庁補助金活用、リーススキーム、ESCO提案の更なる推進
*ESCO(事業者が省エネルギーを保証し、お客様の省エネルギー効果の一部を報酬として受取る仕組み)
- ・ 原単位管理手法の提案による大型生産施設等へアプローチ強化
*原単位管理手法(生産工程毎の使用エネルギー量を把握、管理する手法)
- ・ 設備のライフサイクルコスト提案等による案件創出
(毎年の建物保全コストの見える化→劣化診断→改善提案→改修工事のサイクル)

コンサル受注 (単位:億円)



ソリューション受注



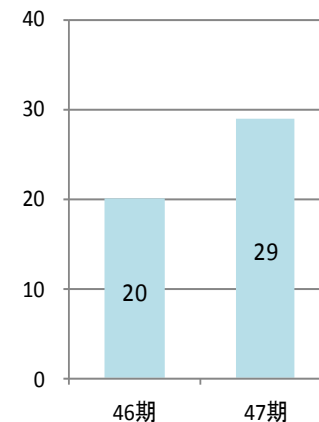
NTTグループとのコラボレーション営業

■NTTグループとのコラボレーションによるビジネス展開

- NTTグループ各社と連携した提案営業の展開
受注実績29億円、取組件数(提案見積・情報提供)203件
- NTTファシリティーズ社との連携案件
 - 大手出版会社データセンタ新築・空調工事受注
 - SLC販売促進に向け、NTTビルを中心に協働営業
NTTファシリティーズ社のエネルギーモニタリングシステム(Remoni)とセット提案等
*SLC(スマート・ライティング・コントローラ)は省エネ照明システムで当社の登録商標 <参考資料IV参照>
 - NEXCOグループのPA休憩施設に省エネ・新エネ等の提案継続
*NEXCO(高速道路の管理運営・建設等を行っている事業者)

受注額

(単位:億円)

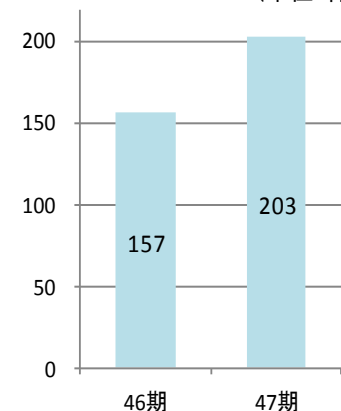


■今後の取り組み

- NTTファシリティーズ社のベストパートナーとして事業サポート
 - 「BEMSアグリゲータ」ビジネスへの技術協力 <参考資料I参照>
*BEMSアグリゲータ(電力消費量を把握し節電を支援する、エネルギー管理サービスを行う事業者)
 - ソーラービジネス、スマートビジネスへの技術・営業協力
- リーススキームによる省エネ・BCP案件受注に向け
NTTファイナンス社と連携強化

取組件数

(単位:件)



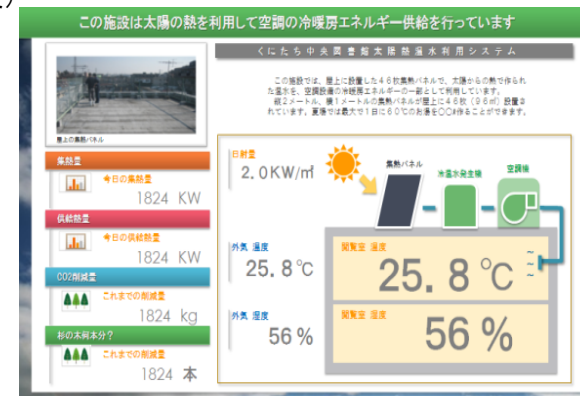
新規ビジネスの具現化と機会の発掘

■当社のバリューチェーン(診断・工事・保守)を活用したビジネスの展開

- オーエンス社(資本業務提携)との協業により、市場化テスト案件を獲得
オーエンス社より、農林水産研究所つくば館の空調・衛生設備保守を受託
*市場化テスト(「官民競争入札」等の推進により、良質、低廉な公共サービスの提供をめざす制度)

■太陽熱利用システムの拡大 <参考資料Ⅱ参照>

- 大型太陽熱利用システム(給湯利用)を受注(米軍)
集熱コレクター面積 628m² (集熱量換算 約300kwh相当)
- 太陽熱の空調利用に向け技術開発及び営業推進
くにたち図書館の空調システムの実績等をアピール(完成物件に掲載)
- システム運用状況等の可視化ツールとして
「スマート&クリーンチャンネル」を導入(ENEX2012展示・P31参照)



▲「スマート&クリーンチャンネル」は、太陽熱利用システムの運用状況等をリアルタイム表示

■水ビジネスの領域拡大

- 工場等の設備実態を踏まえ、種々の廃水技術から有効案を選択・提案
- 廃水処理と非常時の水ライフライン確保(井水)システムのパッケージ化による新規顧客獲得

■「日比谷新BEMS」の展開

*BEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)電気使用量の見える化等のエネルギー管理システム

- スマートビジネスにおける戦略ツールとして開発、提供
- 中小ビルをターゲットに営業展開(BEMSアグリゲータとの協業等)

■ベトナムにおけるパイロット事業の展開

- NEDO交付事業、省エネ実証事業調査報告完了
 - 建物診断(ホテル2棟、オフィスビル1棟)、高効率化提案
ESCO事業モデル提案
*ESCO(事業者が省エネルギーを保証し、お客様の省エネルギー効果の一部を報酬として受取る仕組み)
 - 調査報告をもとにベトナム初のESCO事業者が誕生
ベトエスコ社:ベトナム政府関係者が約6割出資
- 経済産業省「地球温暖化対策技術普及推進事業」を受託
NEDO案件に続き、ベトナムでの建物省エネ実証事業
 - NEDO交付事業報告内容の実施とその効果検証
実施はベトエスコ社、当社は効果検証 <参考資料Ⅲ参照>



▲ベトナムでの省エネ診断実施物件

■今後の取り組み等

- ベトナムでのパイロット事業の成果に基づき、当社開発の熱源特化型BEMSを複数の商用ビル向けに展開
- NTTグループ会社とのコラボレーションにより、省エネソリューションビジネス等のシンガポールでの展開等を検討

■技術ロードマップに基づき、戦略的研究開発活動を展開

- NTTグループ会社とデータセンタ向け新空調方式を共同研究
- 太陽熱利用の実証試験による技術蓄積
(集熱パネル性能比較、効率的運用手法等)
- 太陽熱利用空調システム向けエジェクター式冷凍機(EJHP)を開発

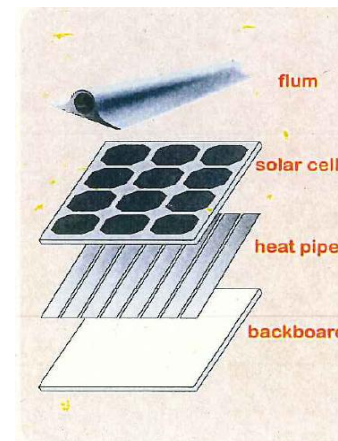
■今後の取り組み等

- データセンタ向け空調検証室を整備し、研究開発効率を向上
- エジェクター式冷凍機(EJHP)の製品化
- 太陽光発電+太陽熱利用併用システムの開発(ハイブリッド化)
- スマートビジネス向けのBEMS開発(中小ビル用、熱源特化型)



▲エジェクター式冷凍機

*冷媒蒸気を高速噴射させることで得られる冷却作用を利用
・シンプル構造でメンテナンスが容易小型で低コスト



▲太陽光+太陽熱併用システムパネルイメージ

「ENEX 2012」へ出展 ～地球環境とエネルギーの調和展～

■省エネ技術、サービス等をアピール

- 東京ビックサイトで開催(2月1日から3日間)
- 展示パネル、デモ端末等を900名のお客様が体験
メーカー(自動車、薬品等)、商社、官公庁、大学、NTTグループ等

当社技術に注目していただいたお客様をフォロー
ニーズを踏まえた提案営業を展開中



▲太陽熱利用システム展示風景

【提示内容等】

- ①太陽熱利用システム
エジェクター式冷凍機(EJHP)試作機
「スマート&クリーンチャンネル」等の展示
- ②SLC(スマート・ライティング・コントローラ)＜参考資料Ⅳ参照＞
- ③EIA(エネルギー見える化システム)＜参考資料Ⅴ参照＞
- ④廃水処理技術
- ⑤メタンガス発電技術



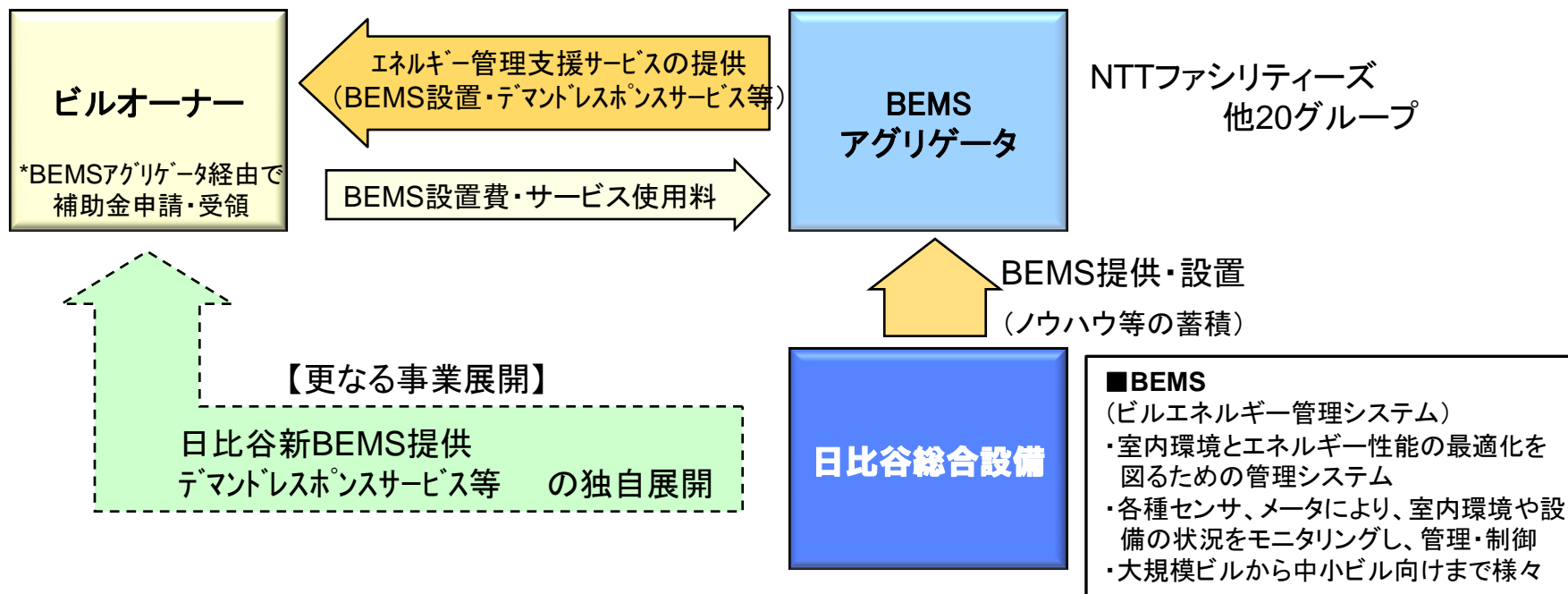
▲EIAサービス展示風景

*EIA(エネルギー・インフォメーション・アナリシス)
エネルギーの使用状況をリアルタイムで把握し、
情報を一元管理するシステム

参考資料



■BEMSアグリゲータとの連携イメージ



■BEMSアグリゲータ(エネルギー利用情報管理者)「経済産業省補助金事業」

【補助金事業の概要】

- ・ 中小企業等の高圧小口の需要家に対して、スマートメーター導入と連携した電力需要抑制を促進するため、BEMS導入を補助する。

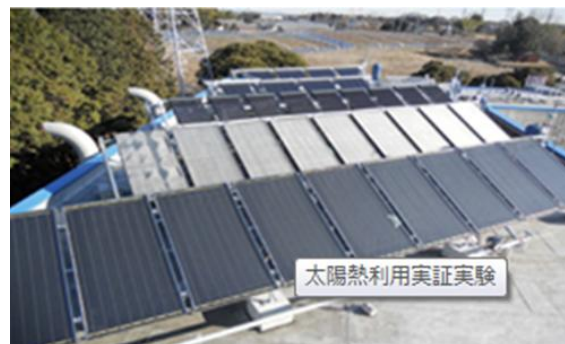
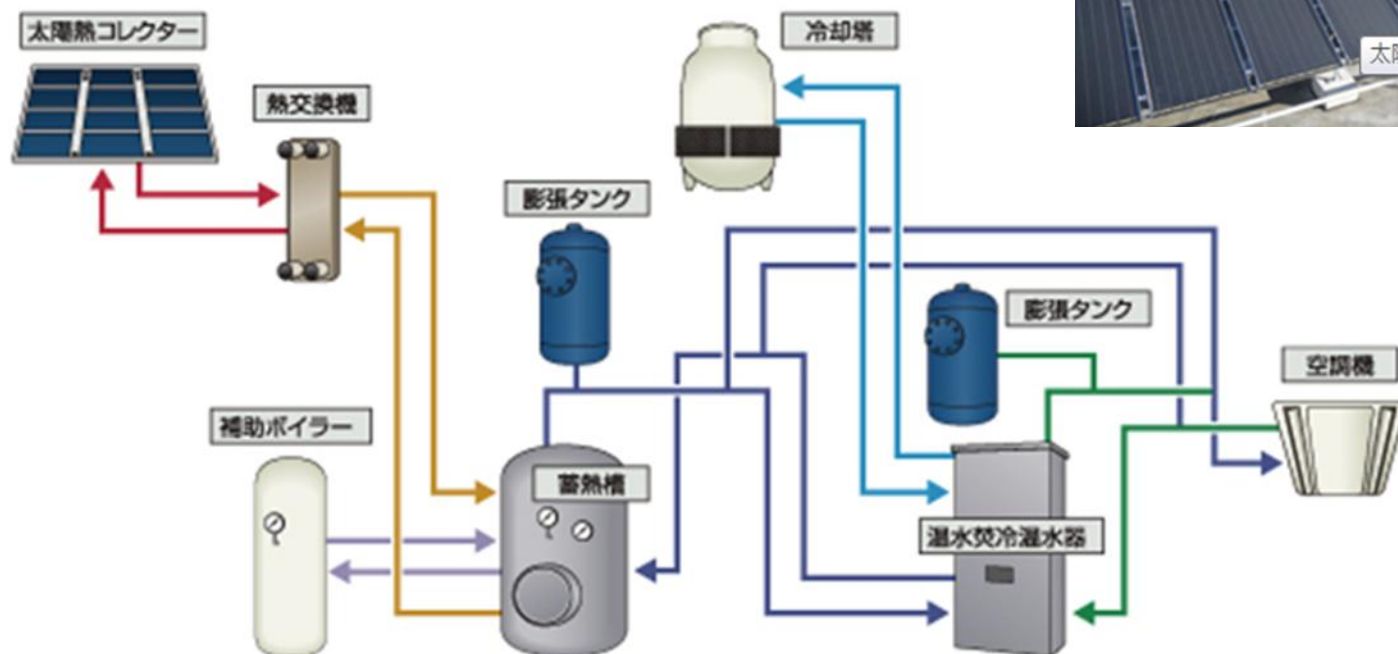
【BEMSアグリゲータの事業内容等】

- ・ 中小ビル等にエネルギー管理システム(BEMS)の導入促進を図るとともに、エネルギー管理支援サービス(消費電力を把握し、節電を支援するサービス)を提供
- ・ これにより、エネルギー使用の効率化及び電力需要の抑制を図る

■太陽熱システムの空調利用で用途を拡大

【冷熱利用の例】

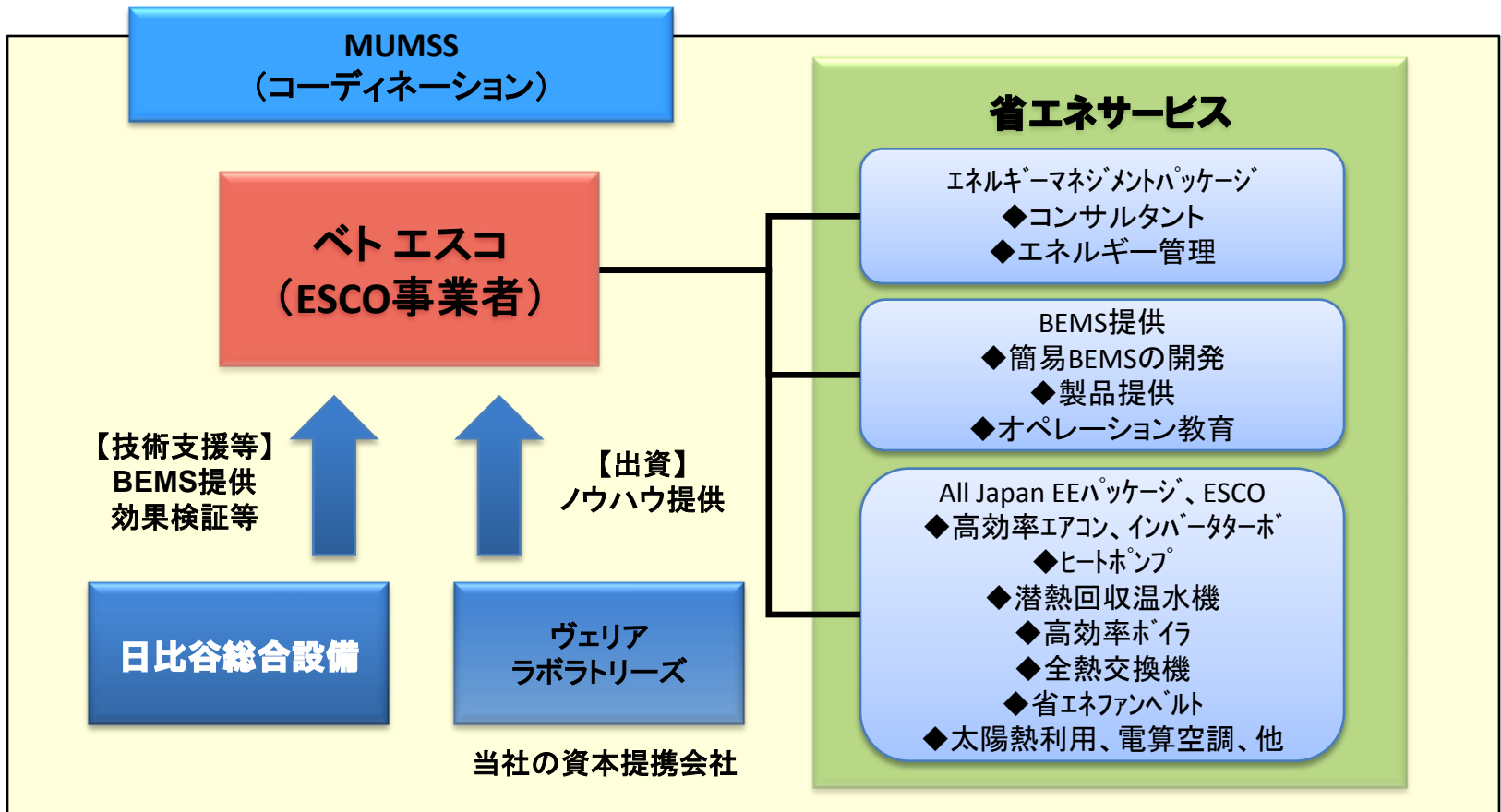
- ・ 夏期時は取得した温水で冷水を作り冷房
- ・ 冬期時は取得した温水を直接空調機へ送水し暖房に利用



ベトナムにおけるパイロット事業の展開

■ベトナムでのパイロット事業の成果に基づき、当社開発の熱源特化型BEMSを複数の商用ビル向けに展開

【ベトナムにおけるベトエスコ社等との事業連携イメージ】



【参考資料】

スマート・ライティング・コントローラ

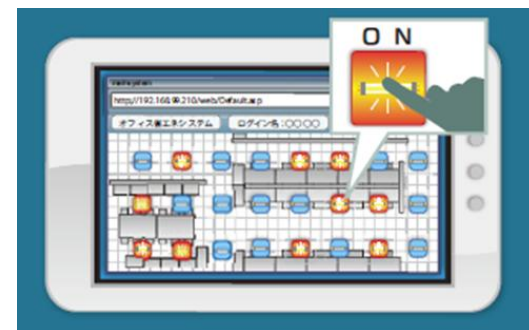
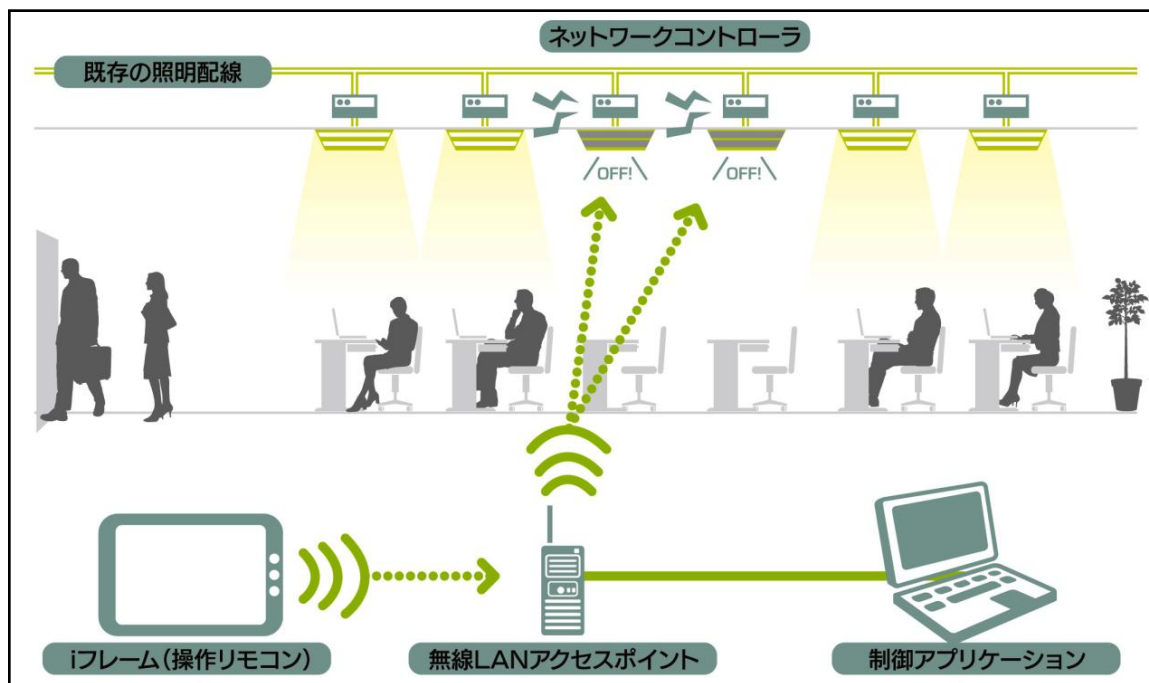
* 当社商標登録済

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.

■ パソコンやスマートフォンからの制御信号を無線LAN経由で1灯ずつ点・消灯し、大幅節電が可能なシステムを開発

■ 新規の電源配線・信号配線不要のため施工が容易

→ 主に既存ビルをターゲット販売促進中

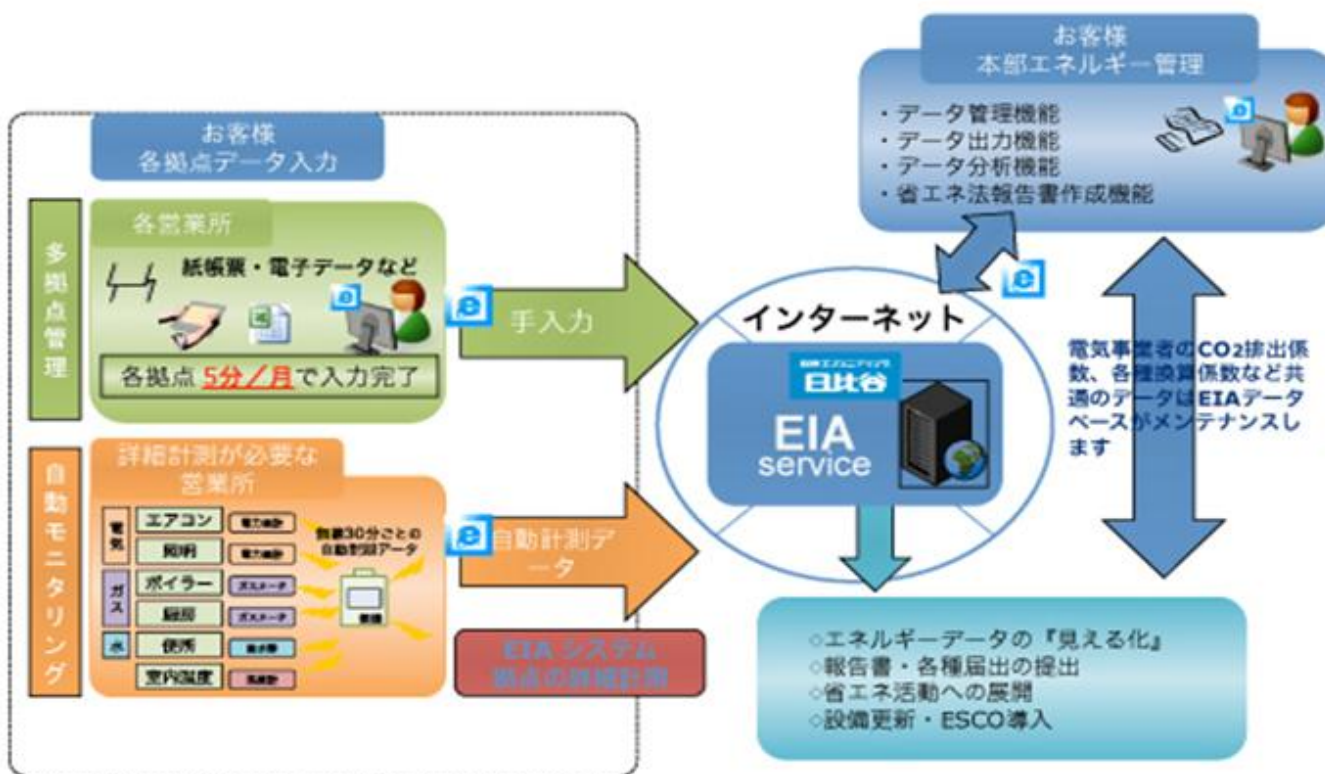


タブレット端末、スマートフォン、
iフレームでの画面タッチで
ON/OFF

EIA(エネルギー使用状況見える化システム)

■エネルギー使用状況を「見える化」することにより、無駄や非効率を発見し、省エネルギーに繋げる

■EIAはお客様のエネルギー使用量を一元管理し、省エネルギー活動を支援



時代にまっすぐ、技術にまじめです。



個人投資家向け会社説明会
日比谷総合設備株式会社
2012年5月26日

【ご注意】本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。